

(2) 崖から離れて地層全体を観察する。

① 地層の出ている崖全体をスケッチする。

② 地層の重なり方、割れ目(断層)、地層のずれなどに注意しながら地層を書き入れる。

③ この高台は、これらの地層が重なってできていることを理解する。

④ 崖に沿って地層を追いかけて、地層は水平方向に広がっていることを理解する。

(3) 地層に近づいて観察する。

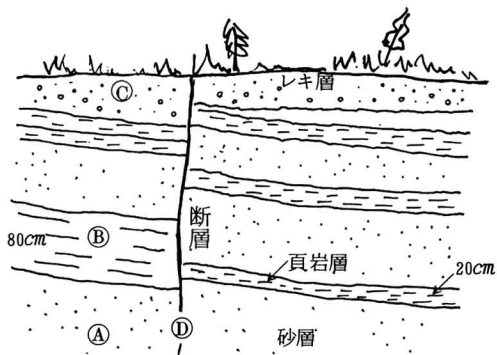
Ⓐ層は淡黄色の砂層です。

Ⓑ層は灰褐色をしており、表面は風化して、うすくはが

れやすい性質をもつ頁岩層です。この頁岩層と砂層は、交互に重なりあったような重なり方をしています。このような関係を互層といっています。

Ⓒ層は川原に見られるレキのように、まるいレキからなる段丘性のたい積層です。

Ⓓで、左右の地層はずれます。この割れ目を断層と呼びます。



2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

上遠野川の度京橋近くの川原

(2) 土手の上から川原や水の流れの様子を観察する。

① 川原や水の流れなど、川の全景をスケッチする。

② 水の流れが大きく曲がっている

